

別 記
様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年7月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県大津市松本一丁目2-20

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
公益財団法人滋賀県スポーツ協会
会長 河本 英典

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→ 第25条第4項
第27条第1項→ 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県大津市松本一丁目2-20

1 事業所の概要

事業所の名称	ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)					
事業所の所在地	滋賀県大津市におの浜四丁目2-12					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	0	4	2	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	県民の心身の健全な発達と文化、体育・スポーツの普及振興を図るため設置された。					
従業員の数	6	人	操業時間	13	時間/日	
該当する事業者の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	1	台
	コンプレッサ		台	空気調和設備	3	台
				照明設備	436	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2020	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了年度	2023	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

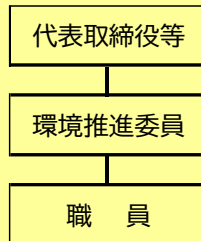
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境方針

- ・電気、ガソリン等を適正な範囲で使用し、省資源・省エネルギーに努める。
- ・廃棄物の削減とリサイクルの推進を行い、ごみの減量化に努める。
- ・水道を適正な範囲で使用し、省資源・省エネルギーに努める。
- ・グリーン購入の拡大を推進する。
- ・環境活動の社会貢献を推進する。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

環境方針

- ・電気、ガソリン等を適正な範囲で使用し、省資源・省エネルギーに努める。
- ・廃棄物の削減とリサイクルの推進を行い、ごみの減量化に努める。
- ・水道を適正な範囲で使用し、省資源・省エネルギーに努める。
- ・グリーン購入の拡大を推進する。
- ・環境活動の社会貢献を推進する。

その他の取組

- ・コピー機使用において、裏紙印刷に努める。
- ・窓を開け、空調の使用を抑えるように努める。
- ・公用車使用において、アイドリングストップに努める。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	総量当たりCO ₂ 排出を4%削減する。(2019年比)	令和2年～令和5年	周知しました
2	運用改善	ガソリン消費量4%削減する。(2019年比)	令和2年～令和5年	周知しました
3	運用改善	総量当たり使用水量4%削減する。(2019年比)	令和2年～令和5年	周知しました
4	運用改善	総量あたり可燃ゴミを4%削減する。(2019年比)	令和2年～令和5年	周知しました
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		(該当なし)		
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
節電の意識を職員間で共有。利用者の使用がある時以外は消灯する。 近場であれば徒歩や自転車の利用に努める。公用車を使う場合はアイドリングストップを励行。 水道使わないときは蛇口を閉めること、出したままにしないよう努める。 施設内照明のLED化に努める。 ゴミの分別により、可燃ゴミの量を削減する。	取組内容について職員、利用者に周知に努めた。施設利用時にもこまめに巡回、トイレ等利用に影響がない場所は節電した。施設内照明のLED化はできていないことが今後の課題である。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	92	82	421	116	103	
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	175	158	673	77	41	
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	175	158	673	77	41	
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1	(該当なし)		
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	87	158	860	77	43	
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	87	158	860	77	43	
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度
保有車輛の数	台	1	1	1	1	1	
上記のうち 次世代自動車等の 数	台						
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	グリーン購入	グリーン商品購入率を70%に拡大	令和2年～ 令和5年	ペーパーレスに努め た。
2	その他	地域の美化活動に年2回参加する	令和2年～ 令和5年	びわこの日清掃活動に参加 し、また毎週火曜日に施設 周辺の美化活動している。
3				
4				
5				